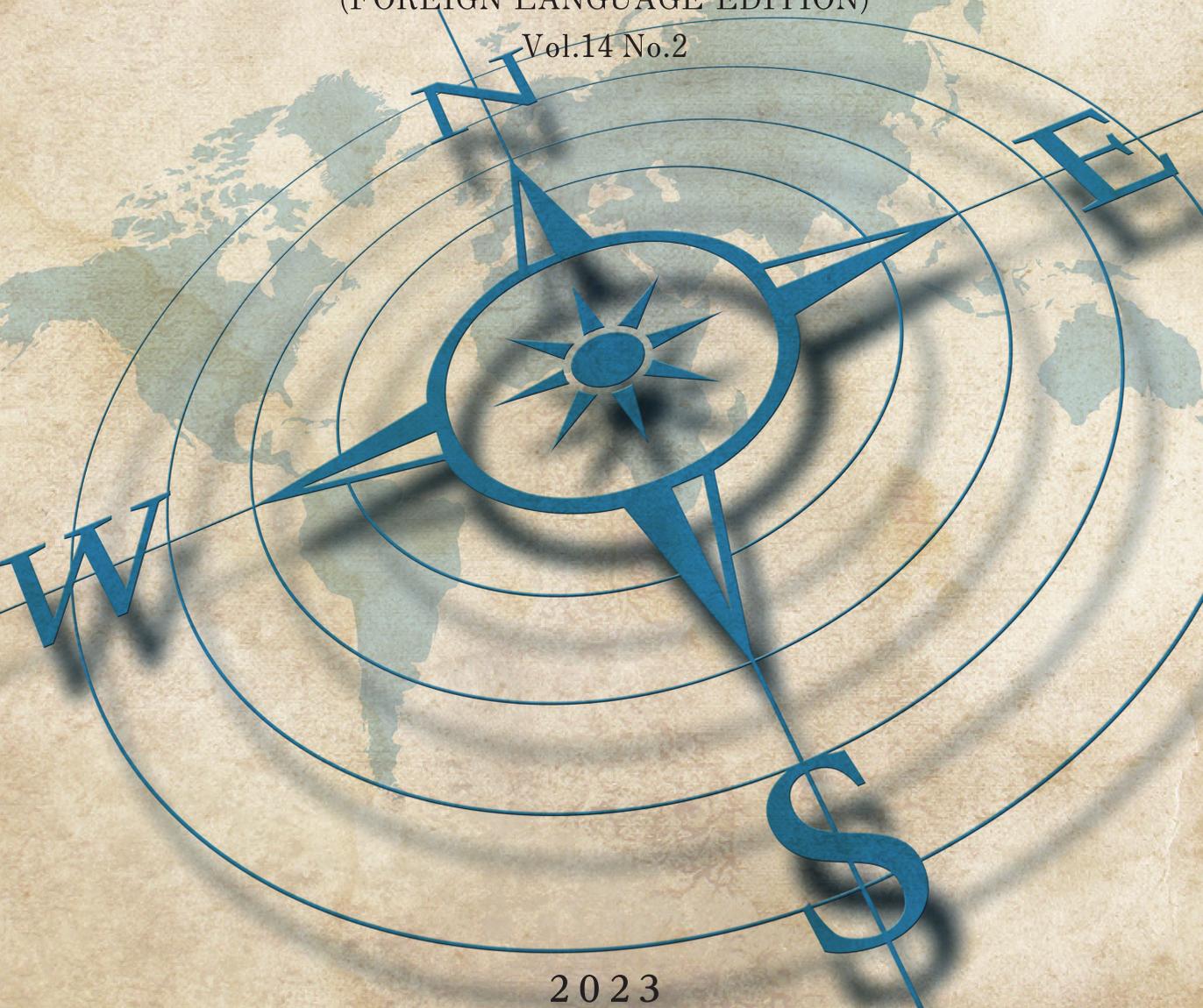


近畿大学教養・外国語教育センター紀要 (外国語編)

第14巻 第2号

KINDAI UNIVERSITY
CENTER FOR LIBERAL ARTS
AND FOREIGN LANGUAGE EDUCATION JOURNAL
(FOREIGN LANGUAGE EDITION)

Vol.14 No.2



2023

近畿大学教養・外国語教育センター

近畿大学
教養・外国語教育センター紀要
(外国語編)

第14巻 第2号

2023

近畿大学教養・外国語教育センター

KINDAI UNIVERSITY
CENTER FOR LIBERAL ARTS
AND FOREIGN LANGUAGE EDUCATION JOURNAL
(FOREIGN LANGUAGE EDITION)
Vol. 14 No. 2

KINDAI UNIVERSITY CENTER FOR LIBERAL ARTS
AND FOREIGN LANGUAGE EDUCATION

近畿大学教養・外国語教育センター紀要（外国語編）
第14巻 第2号 2023

目次

■ 論文

- ウクライナのディスプレイスト・パーソンを描く
——ウクライナ・ロシア系ドイツ語作家ナターシャ・ヴォーディンの
『彼女はマリウポリからやって来た』に関して——
徳永 恭子 1
- Zur Modalisierung beim althochdeutschen Tatian aus textgrammatischer Sicht
——Mit Hilfe der Sprechereinstellung von Übersetzern—— 黒沢 宏和 19
- 関西大学図書館所蔵『草稿本日本同人詩選』について 原田 信 39
- 野球用語と認知
——「フォークボール」を中心に—— 森山 智浩 61
- 唇読みを取り入れた授業が読解力の向上に及ぼす影響
——唇読みと音読の比較から—— TAKECHI Mika 81
- 英語リメディアル授業におけるメタ認知促進の試み 牧野 眞貴 101
- 大学進学率が低い自治体に所在する学校法人の学生獲得戦略についての考察
木村 正則 115
- 各種報告
- 日本語教員養成課程「実習」における大学生の学び
——日本語学校の留学生との交流実践から——
高橋 朋子 135

KINDAI UNIVERSITY
CENTER FOR LIBERAL ARTS
AND FOREIGN LANGUAGE EDUCATION JOURNAL
(FOREIGN LANGUAGE EDITION)
Vol. 14 No. 2

CONTENTS

■ Articles

- A Portrait of “Displaced Person” from Ukraine
— Natascha Wodins “She came from Mariupol” — TOKUNAGA Kyoko 1
- On the Modalization of Old High German Tatian from a Text Grammatical Point of View
— With the Help of the Speaker’s Attitude of Translators —
KUROSAWA Hirokazu 19
- A Note on Sokohon Nihondojinshisen in the Collection of Kansai University Library
HARADA Makoto 39
- A Cognitive Approach to the Concepts of Baseball Terms
MORIYAMA Tomohiro 61
- The Impact of Incorporating Silent Mouthing into English Education on Reading
Comprehension TAKECHI Mika 81
- Fostering Metacognition in Remedial English Classes MAKINO Masaki 101
- An Analysis of University Management Strategies of Japanese Educational Corporations
in Municipalities with a Lower Percentage of High School Students Advancing to
University KIMURA Masanori 115

■ Miscellanea

- Lessons from the Practical Component of a Japanese Language Teacher Course:
Interactions between Japanese and International Students
TAKAHASHI Tomoko 135

執筆者紹介（目次順）

徳永 恭子	ドイツ語文学	文芸学部教授
黒沢 宏和	ドイツ語学	法学部教授
原田 信	日中文献学	経営学部准教授
森山 智浩	認知言語学	法学部准教授
Takechi Mika	英語教育	経営学部非常勤講師
牧野 眞貴	英語教育	法学部准教授
木村 正則	高等教育論・英語教育学	農学部教授
高橋 朋子	社会言語学・日本語教育	グローバルエデュケーションセンター教授

教養・外国語教育センター紀要（外国語編）の投稿・編集・発行等に関する細則

教養・外国語教育センター「近畿大学教養・外国語教育センター紀要（外国語編）」（以下「本紀要」という。）の投稿・編集・発行等に関して、次のとおり定める。

1 紀要発行

- (1) 広報出版委員会（以下「本委員会」という。）は、毎年度2回、本紀要を発行する。
- (2) 必要に応じ、本紀要の特集号、増刊号を編集し発行する。

2 原稿作成

- (1) 原稿作成は、各専門分野の慣例を尊重し、それに従うことを基本とする。
- (2) 原稿はワープロソフトで作成したものに限り、手書き原稿は認めない。
- (3) 原稿は、次の分量を目安とする。
 - ①研究論文 和文：20000字以内（注含め）
欧文：40000ストローク以内（注含め）
 - ②研究論文以外 和文：10000字程度（注含め）
欧文：20000ストローク以内（注含め）
- (4) 注及び引用・参考文献の記載については、原則として次のとおりとする。
 - ①注には算用数字で通し番号をつけ、本文の該当箇所に右肩付きの数字で示す。また注は文末注とする。
 - ②引用文献、参考文献は最後に、邦文文献は五十音順に、欧文文献は著者名のアルファベット順にして掲載する。邦文文献と欧文文献が混在する場合には、欧文文献を先にまとめて並べ、その後に邦文文献を記載する。

3 投稿原稿

- (1) 投稿原稿は、以下の種類と内容で、未発表のものに限る。
 - ①研究論文（原著論文でオリジナリティのある内容）
 - ②研究ノート（研究調査の手法や過程をまとめたものなど）
 - ③翻訳（原則として未翻訳の文献等の翻訳）
 - ④資料紹介・書評（新資料の紹介や書評など）
 - ⑤各種報告（授業実践報告、シンポジウム報告など）
- (2) 投稿者は、本学教養外国語担当専任教員、同専任教員の推薦を受けた本学非常勤教員及び本委員会で投稿を認められた者とする。
- (3) 投稿原稿は、本委員会が指定する期限までに、指定の方式に従って提出しなければならない。
- (4) 原稿投稿に先立って、所定の手続きに従って執筆申込をしなければならない。

4 採否決定

(1) 本学教養外国語専任教員

- ①編集委員会は、必要に応じ臨時委員を加えて、受理した投稿原稿の採否を審議する。
- ②編集委員会は、必要に応じ著者に対して原稿の訂正、修正、加筆等を求めたうえで、原稿の採否を決定する。
- ③採否を決定した原稿の掲載順序は、編集委員会が定める。

(2) 本学教養外国語専任教員の推薦を受けた本学非常勤教員

- ①編集委員会は、必要に応じ臨時委員を加えて、受理した投稿原稿を審査する。
- ②審査を通過した投稿原稿は、本紀要1号につき、5編まで掲載する。
- ③当該の号に掲載されない原稿は、次号回しとする。
- ④採否を決定した原稿の掲載順序は、編集委員会が定める。

5 著作権

本紀要に掲載された論文等の著作権は、近畿大学全学共通教育機構「教養・外国語教育センター」に帰属するものとする。

6 校正

- (1) 著者が行う校正は、原則として第2校までとする。
- (2) 校正の期間は、初校、2校とも1週間以内とする。期間に間に合わない場合は、原則として、その原稿は、次号回しとする。
- (3) 校正の段階での著しい訂正、修正、加筆等は禁止する。校正の段階で、大幅な訂正、修正、加筆等が必要になった場合は、その原稿は次号以降、再度、採否を審議、審査する。

7 公開・管理

- (1) 本委員会は、作成された紀要の電子ファイルを「近畿大学学術情報リポジトリ」において公開する。
- (2) 他大学等から送付されてきた紀要類は、本委員会が管理する。

附 則

この細則の改正は、センター会議において行う。

この細則は、令和元年6月1日から施行する。

編集委員会

委員長	菅井 康祐	(経済学部教授)
委員	シモノ・トーリン	(法学部准教授)
	山田 恭子	(法学部准教授)
	阿部 慎太郎	(法学部講師)
	ファーガソン・ピーター	(経済学部准教授)
	ジョシュア・コーエン	(経営学部准教授)
	荒木 瑞夫	(理工学部教授)
	バルー・ケビン	(建築学部講師)
	三原 京	(情報学部教授)
	武富 利亜	(薬学部教授)
	徳永 恭子	(文芸学部教授)
	松村 博史	(文芸学部教授)
	ロバート・スワイヤー	(文芸学部講師)
	マクリーン・スチュアート	(総合社会学部准教授)
	西垣 佐理	(農学部准教授)
	長谷川 由美	(生物理工学部准教授)

近畿大学教養・外国語教育センター紀要 (外国語編)

第14巻 第2号 2023年

令和5年11月29日 印刷

令和5年11月30日 発行

発行人 戸井田 克己

発行所 近畿大学全学共通教育機構
教養・外国語教育センター

577-8502 東大阪市小若江3丁目4番1号

KINDAI UNIVERSITY
CENTER FOR LIBERAL ARTS
AND FOREIGN LANGUAGE EDUCATION JOURNAL
(FOREIGN LANGUAGE EDITION)

3-4-1 Kowakae, Higashiosaka-shi, 577-8502 Japan

ISSN 2432-454X



近畿大学
KINDAI UNIVERSITY